

第 4 4 期事業計画書

平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日

東明興業株式会社

1. 経営環境と経営目標（第44期）

アメリカ経済の回復は株価を押し上げ、利上げによるドル高・円安も伴い日本の景気も好調に推移しています。

一方、北朝鮮の核ミサイル開発や中国の海洋進出等の地政学的リスクは国際経済や企業活動等に影響を及ぼす不安定要素となっています。

国内では働き方改革として長時間労働の解消や非正規社員の格差是正が問題視され、又、大手企業によるデータの改ざんや検査偽装といった不祥事など企業が与える社会的影響の大きさを再認識しました。

建設業界では東京オリンピック・パラリンピックやリニア新幹線等首都圏の工事量は本年から来年にかけてピークがくると言われておりますが、依然として恒久的な人手不足に直面している状況です。

こうした状況の中、弊社では昨年、中期5ヶ年計画を策定し2年目に当たる本年は「第44期事業計画」を基に戦略的に遂行して参ります。

品質につきましては顧客の要望事項を基に戦略的な営業とサービスを提供します。永年継続しています情報開示を「産業廃棄物の一連の処理工程」に改訂し中間処理における廃棄物の取扱いに関するすべての情報を公にして処理の見える化をモデル化しました。又、ITを導入したモバイルでのWEB受注ネットワークシステム（Pleasure System）の構築を推進して参ります。

環境につきましては、近隣地域に対する粉塵・騒音対策、引き続き石綿含有産業廃棄物・水銀使用製品産業廃棄物の検査の徹底、適正処理の推進、CO2の削減、及びクリーン発電原料供給のご提案を積極的に実施し、東明グループ全体で太陽光発電によるクリーンエネルギー10メガを供給します。

安全につきましては健康管理の推進、安全基本行動である一声かけ、一人KY、指差呼称の基本三原則を厳守、安全衛生委員会の運営強化、解体改修工事、収集運搬事業場及び中間処理工場の安全パトロール強化に加え社員の能力と知識の向上教育を積極的に取り組んで参ります。

第44期も適正で高品質な環境と安全に配慮した信頼されるサービスを提供して参ります。

2. 経営基本方針

“いっしょに守ろう”

きれいな地球・たのしい職場・みんなの利益

- (1)経営の目的・目標（品質評価・環境影響評価・労働安全衛生リスク評価）を戦略的に特定し、コンプライアンス（法遵守）の厳守と「品質・環境・安全について」の重点事項を実施し、信頼される透明性の高い経営を実施します。
- (2)適正処理を担保する「産業廃棄物の一連の処理工程」により中間処理における廃棄物に関するすべての情報を開示し石綿含有産業廃棄物・水銀使用製品産業廃棄物の搬入検査を徹底し適正処理を推進します。
- (3)近隣地域との調和を図り、工場施設の運用管理を強化し環境負荷を低減するとともに CO2 削減及びクリーン発電原料供給の提案、継続的な消費電力の低減とクリーン電力の安定供給を実施します。
- (4)安全衛生委員会のもと、健康管理の推進、解体改修工事、収集運搬事業場及び中間処理工場の安全パトロール強化、及び安全基本行動を厳守し、重大な疾病障害・労働災害を防止します。
- (5)全社員、協力業者へのモラル・マナー教育、専門知識、人材教育を強化し世代交代を見据えた、人材配置と幹部候補生を育成、並びに社内外の年間行事を通じてコミュニケーションの充実を図ります。

